

政策シート 政策名 09 都市公園・緑地の整備

予算費目名 01 公園事業費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後) ◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

政策の柱 (10年後) ◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 03 市民が集う活力ある都市づくり

(2) 政策の概要(当年度(2022年度)実施内容)

・将来を見据えた適切な都市計画公園の整備

(3) 関連するSDGsのゴール

③保健	①都市	⑬気候変動	⑮陸上資源					
-----	-----	-------	-------	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	593,288	572,938	522,375	510,507		
決算	551,308	603,893	484,302			
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	96,000	103,000	103,000	102,200		
年間経費(予算又は決算+A+B)	647,308	706,893	587,302	612,707		

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
市民一人当たりの公園敷地面積	㎡	目標	8.67	8.7	8.72	8.75	8.78	8.8
		実績	8.25	8.3	8.34			
		目標						
		実績						

4 前年度(2021年度)政策評価

(1) 前年度(2021年度)実施内容

・将来を見据えた適切な都市計画公園の整備

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 遅れている

・中瀬南部土地区画整理事業区域内公園等の整備を実施したが、市民一人あたりの公園敷地面積の増加はわずかで、目標値には至らなかった。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	公園整備事業	○	○	○		532,891	454,911	10.7			1.1	
2	公園管理・活用事業	—	—	—		60,357	53,917	0.6			0.8	
3	公園事業運営経費	—	—	—		19,459	1,679	2.5			0.1	
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						612,707	510,507	13.8			2.0	

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 公園整備事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

子ども・高齢者・障がい者など誰もが安全・安心して利用でき、花とみどりを親しむ豊かな環境を享受できる快適空間を創造するため、都市公園等の計画的な整備を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1950	-	一般会計	自治事務(その他)	都市公園法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	○	(施策)	Ⅲ-1(1)ア	Ⅲ-2(2)イ					
重点戦略	○	(戦略項目)	143	169	202				

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市	③保健	⑬気候変動	⑮陸上資源					
事業とゴールの関連性	<ul style="list-style-type: none"> ・都市公園の拡充により、子ども・高齢者・障がい者など誰もが安全・安心して利用でき、花とみどりを親しむ豊かな環境を享受できる快適空間を創造する。 ・公園の防災機能の拡充と公園緑地による環境負荷の軽減を目指す。 							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	533,825	515,444	462,099	454,911		
	決算	493,463	547,201	425,428			
	国・県支出	94,131	135,486	118,098	111,201		
	市債	143,600	20,300		160,300		
	その他	201,000	163,000	113,024	164,000		
	一般財源	54,732	228,415	194,306	19,410		
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		70,160	77,160	78,140	77,980		
人工	正規	9.6	10.6	10.7	10.7		
	再任用(31h)	0.2	0.2	0.2			
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.8	0.8	0.9	1.1		
年間経費(予算又は決算+A+B)	563,623	624,361	503,568	532,891			

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
市民一人当たりの公園敷地面積(m ²)		-	目標	8.67	8.7	8.72	8.75	8.78	8.8
			実績	8.25	8.3	8.34			
南エントランスゾーンと天守曲輪南側土塀延長整備率(%)		-	目標	100	100	100	100	100	100
			実績	75	75	75			
公園整備における照明のLED化率(%)	143		目標	100	100	100	100	100	100
			実績	100	100	100			
浜松城公園歴史ゾーン整備の進捗状況(樹木伐採・遺構解説サイン)	169		目標	樹木伐採	※本年度・道徳館センターの設置	遺構解説サインの設置	樹木伐採	樹木伐採	樹木伐採
			実績	樹木伐採	※本年度・道徳館センターの設置	※本年度中継り山公園の設置			
鹿谷地区の整備率(%)	169		目標	25	37	49	67	85	94
			実績	18	41	59			
新野球場を含めた遠州灘海浜公園の施設整備等に向けた進捗状況	202		目標	県協議	県協議	県協議	県協議	県協議	県協議
			実績	県協議	県協議	県協議			

(管理番号)									
2022年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	03	09	01	002161000	01	公園課	中村 浩一	2022.7.1

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

【2019-2022重点戦略項目No143、169、202】
 下記事業を実施することにより、市民が安全・安心して利用できる都市公園を提供する。
 ・国交付金事業として、遠州灘海浜公園における都市開発資金の借入れに伴う償還、同公園の基盤整備や名塚公園の用地取得を行った。
 ・単独事業として、中瀬南部土地区画整理事業区域内公園等の公園整備を行った。
 ・浜松城公園整備事業として、歴史ゾーンの富士見櫓跡平面表示や遺構解説サインの整備、鹿谷地区の用地取得や実施設計などを行った。
 ・遠州灘海浜公園篠原地区東関連事業として、新野球場の実現に向けた県との協議を実施した。
 ・みんなで作る公園事業として、これからの公園整備等について市民や民間事業者等の意見を取り入れ、行政とともに検討する「公園協議会」の発足に向けたワークショップを行った。

5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題
 指標の達成度
 ・市民一人当たりの公園敷地面積について、中瀬南部土地区画整理事業区域内公園等の整備を実施したが、目標値に届かず遅れている。
 ・新野球場を含めた遠州灘海浜公園の基本計画策定の進捗状況について、県による策定は、コロナ感染症対策等を盛り込んだ計画の見直しにより、策定が1年以上延期となり、遅れている。
 ・公園整備における照明のLED化率について、中瀬南部土地区画整理事業区域内公園等で全てLED照明として整備し、目標通りである。
 ・浜松城公園歴史ゾーン整備の進捗状況について、富士見櫓跡平面表示や遺構解説サインの整備を実施し、目標通りである。
 ・鹿谷地区の整備率について、用地取得は繰上償還等により目標より進んでいる。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)
 ・県はアフターコロナに対応した施設とするため、新野球場を含めた遠州灘海浜公園の基本計画について当初示した比較検討プランを見直し、その内容を反映した計画とするため、予定が変更となった。

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
 大項目 小項目 / 事業費 人工
 ・整備予定公園の優先順位を見直す等、開設できる公園面積の増加に努める。
 ・新野球場の早期実現に向けて、県への要望を継続し、連携を強化する。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)
 大項目 小項目 / 事業費 人工
 ・名塚公園や浜松城公園鹿谷地区などの公園整備について、継続的に用地取得や施設整備が生じるため、現状の事業費が必要となる。
 ・新野球場の実現について、市が用地取得を担うことになっており、取得に係る経費や事務が生じるため、事業費や人工が一時的に拡大する。
 ・万斛庄屋公園について、Park-PFI事業にともない、関連する周辺の施設整備等を進めていく。
 ・浜松城公園歴史ゾーンについて、2023年大河ドラマ関連事業を実施するため、事業費や人工が一時的に拡大する。

7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

【2019-2022重点戦略項目No143、169、202】
 下記事業を実施することにより、市民が安全・安心して利用できる都市公園を提供することができる。
 ・国交付金事業として、遠州灘海浜公園の基盤整備や名塚公園の用地取得、物件移転補償を行う。
 ・市単独事業として、中瀬南部・船明土地区画整理事業内公園等の整備やスケートパーク調査等を行う。
 ・浜松城公園整備事業として、歴史ゾーンでの大河ドラマ関連事業や、鹿谷地区の用地取得や基盤整備を行う。
 ・遠州灘海浜公園篠原地区東関連事業として、新野球場の実現に向けて、県と継続して協議を行う。
 ・みんなで作る公園事業として、引き続き公園協議会の設立に向けた協議を継続し、公民連携による公園づくりを推進する。

補助シート(重点戦略 事業工程表)

(事業名) 01 公園整備事業

◇【2019～2022】事業工程表(No.: 重点戦略項目No)

No.	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
143	○公園整備におけるLED照明の採用	○公園整備におけるLED照明の採用	○公園整備におけるLED照明の採用	○公園整備におけるLED照明の採用
169	○歴史ゾーンの樹木伐採 ○鹿谷地区の物件移転補償	○歴史ゾーンの樹木伐採や遺構解説サインの設置 ○鹿谷地区の用地取得や測量調査	○歴史ゾーンの遺構解説サインの設置 ○鹿谷地区の用地取得や実施設計	○歴史ゾーンの遺構解説サインの設置、園路改修、樹木伐採 ○鹿谷地区の用地取得や基盤整備
202	○県協議(基本計画)	○県協議	○県協議	○県協議

事業シート (事業名) 02 公園管理・活用事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

借地公園において、賃貸人との良好な関係のもと借地契約を継続して、市民に親しまれる公園を継続して運営する。合わせて公園用地の借地適正化を進める。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1998	-	一般会計	自治事務(その他)	都市公園法

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市									
事業とゴールの 関連性	・都市公園の拡充により、子ども・高齢者・障がい者など誰もが安全・安心して利用でき、花とみどりを親しむ豊かな環境を享受できる快適空間を創造する。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	57,732	55,901	55,010	53,917		
	決算	56,320	55,713	54,576			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	56,320	55,713	54,576	53,917		
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	7,080	7,080	7,080	6,440		
人工	正規	0.6	0.6	0.6	0.6		
	再任用(31h)	0.8	0.8	0.8			
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)				0.8		
年間経費(予算又は決算+A+B)		63,400	62,793	61,656	60,357		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

2022年度

分野
03

基本政策
03

政策
09

予算費目
01

所属コード
002161000

事業
02

(担当課)
公園課

(責任者)
中村 浩一

(基準日)
2022.7.1

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

・開設している公園のうち、民有地を借地しているものが15公園(2021年度借地面積166,938.26㎡)あり運営されている。これらの土地所有者(2021年度:67人)と借地契約を締結し、公園を継続して開設できるように適正に管理運営を行った。

借地解消を進めるため、土地所有者に対し、買い取りに係る要望を確認した。



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度 計画通り

土地所有者(67人)と適正に借地契約を締結し、公園を継続開設した。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 現状 小項目 / 事業費 縮小 人工 現状

土地所有者からの買取要望を受け、借地面積が7,098.60㎡減少し、事業費が縮小した。

2021年度決算見込額(消耗品、郵便料、会場借上げ除く)は54,570,885円となり、2020年度決算額(消耗品、郵便料、会場借上げ除く)である55,708,140円から1,137,255円縮小した。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

借地解消を進めることにより借地面積が減少するため、事業費は縮小する傾向であるが、借地が存在する限り、人工は必要となる。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

開設している公園のうち、民有地を借地しているものが15公園(2022年度借地面積162,633.26㎡)あり運営されている。これらの土地所有者(2022年度:67人)と借地契約を締結し、公園を継続して開設できるように適正に運営をする。

事業シート (事業名) 03 公園事業運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

--

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市									
事業とゴールの関連性	・都市公園の拡充により、子ども・高齢者・障がい者など誰もが安全・安心して利用でき、花とみどりを親しむ豊かな環境を享受できる快適空間を創造する。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	1,731	1,593	5,266	1,679		
	決算	1,525	979	4,298			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	1,525	979	4,298	1,679		
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	18,760	18,760	17,780	17,780		
人工	正規	2.6	2.6	2.5	2.5		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.2	0.2	0.1	0.1		
年間経費(予算又は決算+A+B)		20,285	19,739	22,078	19,459		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

都市公園利用実態調査を行った。

5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

コロナ感染症対策により、管外出張等の制限が生じた。
5～7年間に一度行う都市公園利用実態調査を実施した。

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 現状 小項目 / 事業費 拡大 人工 拡大

2021年度は都市公園利用実態調査を行うため、事業費及び人工が一時的に拡大した。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 現状 小項目 / 事業費 縮小 人工 縮小

2022年度は事業費及び人工が例年通りとなる。

7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

コロナ感染症対策に留意しながら、適正な経費支出を実施する。

政策シート 政策名 **09 都市公園・緑地の整備**
 予算費目名 **03 公共用地取得事業特別会計**

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 **03 安全・安心・快適**

理想の姿 (30年後)	◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。
政策の柱 (10年後)	◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。 ◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 **03 市民が集う活力ある都市づくり**

(2) 政策の概要(当年度(2022年度)実施内容)

(3) 関連するSDGsのゴール

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	105,000	91,000	46,000			
決算	104,928	90,512	45,479			
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	1,400	1,400	1,400	1,400		
年間経費(予算又は決算+A+B)	106,328	91,912	46,879	1,400		

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2021年度)政策評価

(1) 前年度(2021年度)実施内容

・将来を見据えた適切な都市計画公園の整備
 ・浜松市総合水泳場を中心としたスポーツやレクリエーション並びに防風林と一体化となった海辺の拠点としての公園整備

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 達成
 償還計画に基づき2021年度に返済が完了した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	公共用地取得事業	—	—	—		1,400		0.2				
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						1,400		0.2				

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 公共用地取得事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

広大な公共用地を取得するにあたり、都市開発資金及び用地国債の借入を利用したため、特別会計により計画的な償還を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2003	2021	特別会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市									
事業とゴールの 関連性	・都市公園の拡充により、子ども・高齢者・障がい者など誰もが安全・安心して利用でき、花とみどりを親しむ豊かな環境を享受できる快適空間を創造する。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	105,000	91,000	46,000			
	決算	104,928	90,512	45,479			
	国・県支出						
	市債						
	その他	104,928	90,512	45,479			
	一般財源						
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	1,400	1,400	1,400	1,400		
人工	正規	0.2	0.2	0.2	0.2		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		106,328	91,912	46,879	1,400		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

遠州灘海浜公園篠原地区の用地取得において、都市開発資金の借りに伴ない、国交付金を利用して計画的に償還した。



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度 償還計画に基づき適正に返済を行っている。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

政策シート 政策名 09 都市公園・緑地の整備

予算費目名 04 公園管理費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後) ◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

政策の柱 (10年後) ◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 03 市民が集う活力ある都市づくり

(2) 政策の概要(当年度(2022年度)実施内容)

・公園緑地の適正な管理に努め、「安全・安心で快適な公園緑地空間」を創出し、市民に親しまれる公園緑地を提供する。

(3) 関連するSDGsのゴール

③保健	⑥水・衛生	⑪都市	⑬気候変動	⑮陸上資源					
-----	-------	-----	-------	-------	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	1,346,458	1,469,027	1,435,908	1,434,948		
決算	1,258,783	1,330,199	1,335,528			
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	79,200	77,000	78,400	78,400		
年間経費(予算又は決算+A+B)	1,337,983	1,407,199	1,413,928	1,513,348		

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
愛護会数 毎年2公園増加目標	公園	目標	410	384	386	388	390	392
		実績	382	386	390			
		目標						
		実績						

4 前年度(2021年度)政策評価

(1) 前年度(2021年度)実施内容

・公園緑地の適正な管理に努め、「安全・安心で快適な公園緑地空間」を創出し、市民に親しまれる公園緑地を提供する

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 進んでいる

○公園愛護会育成事業:団体数の増減が多少あったが、愛護会数は2021年度目標の390公園に達した。今後、活動困難による解散愛護会の増加が懸念されるため、愛護会の魅力向上に向けた取り組みへの支援や会員の若返りへの誘導が必要である。

○公園施設維持管理事業:指定管理者や業務委託により、安全で快適な公園の提供を図ることができた。

○公園緑地帯維持管理事業:公園等の清掃、除草や樹木剪定をはじめ、公園施設の修繕、設備保守等、限られた予算を有効に活用し、市民に安全安心で快適な公園を提供することができている。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	愛護会育成事業	—	—	—		19,507	16,427	0.2			0.6	
2	公園施設維持管理事業	—	—	—		355,347	346,947	1.2				
3	公園巡視機動業務委託事業	—	—	—		89,288	86,208	0.4			0.1	
4	公園緑地帯維持管理事業	—	—	—		684,611	657,871	3.3			1.3	
5	公園施設改良事業	○	○	○		240,571	229,511	1.5			0.2	
6	ビーチスポーツ施設整備事業	—	—	—								
7	公園施設長寿命化事業	—	—	—		80,891	79,491	0.2				
8	公園管理デジタル運営経費	—	—	—		6,111	4,711	0.2				
9	公園管理運営経費	—	—	—		37,022	13,782	3.0			0.8	
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						1,513,348	1,434,948	10.0			3.0	

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 愛護会育成事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

市民の手による安全・安心で快適な公園緑地づくりの一助となるように公園愛護会を育成する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1966	-	一般会計	自治事務(その他)	公園愛護会報償金交付要綱

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市	③保健								
事業とゴールの 関連性	<ul style="list-style-type: none"> 公園愛護会活動を通じ、あらゆる年齢のコミュニティの場として、すべての人々の精神的な健康維持を促進する。 都市の基本機能である公園の継続的な管理に参画することで、地域コミュニティの面から居住環境を展開する。 								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	16,776	16,482	16,482	16,427		
	決算	15,914	15,799	15,786			
	国・県支出						
	市債						
	その他 一般財源 一般会計繰入金	15,914	15,799	15,786	16,427		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		3,200	1,820	2,940	3,080		
人工	正規	0.2	0.1	0.1	0.2		
	再任用(31h)	0.5					
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		0.4	0.8	0.6		
年間経費(予算又は決算+A+B)		19,114	17,619	18,726	19,507		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
愛護会数 毎年2公園増加目標(公園)			目標	410	384	386	388	390	392
			実績	382	386	390			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- ・主に除草・清掃業務等の奉仕活動を行うことを目的に地域住民等で組織される愛護会に対し、芝刈り機の貸し出しなどの支援をするとともに報償金を支払う。
- ・愛護会の無い公園の地域に、愛護会制度の説明を積極的に実施し、愛護会の組織化を要請する。
- ・会員の高齢化などにより活動が困難な愛護会があるため、ヒアリングを実施する。
- ・住宅地に近接する緑地において、積極的に愛護会制度を紹介し、組織化の誘導を図る。



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・公園愛護会は、2020年度に従前の清掃及び除草といった活動に、公園の活性化や魅力向上、SDGsに繋がる活動といった新たな視点による活動を加える要綱の改正を実施した。
- ・新たに12公園で結成されたが、高齢化などの理由により活動が困難になり8公園で解散し、年度毎に2公園増とする愛護会結成の目標は達成できた。
- ・既存の愛護会や新たに結成された愛護会では、市民の共有スペースとしての公園や都市計画を形成する緑地への理解や関心が高まるとともに、地域住民の連携が生まれ、市政運営の基本方針である「共生共助でつくる豊かな地域社会の形成」の促進に貢献した。また、草刈り、清掃等維持管理費の節減が図られた。
- ・公園愛護会の継続が図られるよう、会員の若返り対策や報奨金のあり方等を含め愛護会の魅力向上への支援方法を検討した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

会員が集結して活動を行うことから、引き続き新しい生活様式に基づいた活動を実施する必要がある。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・地域住民等で組織される愛護会が12公園増加し、市民等との連携による公園管理を進めた。
- ・公園愛護会会員の高齢化などの理由により8公園で愛護会が解散した。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・公園愛護会のある公園の増加により報償金の増額が必要となる。
- ・現在、業務委託としている公園の除草、清掃作業が、公園愛護会により実施されることにより除草に関する事業費の縮減が見込まれる。一方で、コロナ禍の影響が続く場合は直営による除草・清掃等となるため事業費の増額が必要となる場合がある。
- ・公園愛護会の継続が図られるよう、愛護会の魅力向上に向けた取り組みに対し支援するとともに、公園利用団体等に働きかけ公園の利用と合わせた愛護会の設立について働きかける。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

- ・主に除草・清掃業務等の奉仕活動を行うことを目的に地域住民等で組織される愛護会に対し、芝刈り機の貸し出しなどの支援をするとともに報奨金を支払う。
- ・愛護会の無い公園の地域に、愛護会制度の説明を積極的に実施し、愛護会の組織化を要請する。
- ・会員の高齢化などにより活動が困難な愛護会があるため、公園利用団体等にも働きかけ、公園の利用と合わせた愛護会の設立について働きかける。
- ・愛護会活動の省力化、効率化が図られるような、なお一層の支援を検討する。

事業シート (事業名) 02 公園施設維持管理事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

運動施設等を有する公園を対象として、民間事業者への委託(指定管理者制度を含む)により、安全で快適な公園の提供、健康福祉の増進や体育及び生活文化の向上を目指すとともに、市民共有の憩いの場として提供する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1977	-	一般会計	自治事務(その他)	地方自治法(第244条の2第3項、浜松市都市公園条例)

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	③保健		⑥水・衛生	
	⑬気候変動	⑮陸上資源		
事業とゴールの関連性	<ul style="list-style-type: none"> 公園の活用によりあらゆる年齢のすべての人々の健康的な日常生活を確保し、精神及び身体の健康維持を促進する。 公園便益施設の適正な維持管理により、すべての人が水と衛生の利用を可能とする。 都市の基本機能である公園の継続的な管理により人間居住環境を維持する。 公園緑地を継続的に維持することで、気候関連災害や自然災害への緩衝帯や一時避難地としての役割を保持する。 公園緑地の継続的な維持により、緑地減少の阻止や劣化した緑地の回復を担う。 			

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	335,964	374,643	370,872	346,947		
	決算	334,506	370,177	364,506			
	国・県支出		15,141				
	市債						
	その他	16,240	14,729	20,347	17,460		
	一般財源	318,266	340,307	344,159	329,487		
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		8,400	9,100	9,100	8,400		
人工	正規	1.2	1.3	1.3	1.2		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		342,906	379,277	373,606	355,347		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- ・運動施設を有する公園を対象として、民間事業者への委託等により管理運営を行う。
- ・有料公園施設を有する公園を中心に、指定管理者制度及び利用料金制を導入する。
 - (1) 浜松城公園等18公園の指定管理者による管理運営
 - (2) 指定管理者を更新する公園について、適切な管理運営が出来るよう調整する



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・浜松城公園等18公園で指定管理者により管理運営がされた。
- ・指定管理者を更新する公園について、適切な管理運営が出来るよう調整が図られ決定することができた。
- ・民間事業者への委託(指定管理者制度を含む)により、民間活力による安全で快適な公園の提供、健康福祉の増進や体育及び生活文化の向上を図るとともに、市民共有の憩いの場の提供ができた。
- ・今後も、民間活力の活用により、公園の維持、管理を進めていく必要がある。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

公園の利用方法について、引き続き新しい生活様式に基づいた利用を実施する必要がある。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

- ・運動施設等を有する18公園で指定管理者制度による公園管理が適切に実施された。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

- ・指定管理者の提案による自主事業の推進など、民間活力のさらなる活用を進め、魅力ある公園づくりを行う。
- ・市民に身近な公園についても、指定管理者制度の活用などについて、有効性の検討を行う。
- ・1つの公園でも、指定管理者による管理区域と市直営の管理区域が混在している公園があるため、全体を指定管理者の管理区域とし、管理運営の効率化に繋げ、利用者要望への速やかな対応等、利便性の向上に繋げる。
- ・所管課を見直し、市民に分かりやすくするとともに、職員の人員配置も見直すことで事務事業の効率化を図る。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

運動施設を有する公園を対象として、民間事業者への委託等により管理運営を行う。

有料公園施設を有する公園を中心に、指定管理者制度及び利用料金制を導入する。

- (1) 浜松城公園等18公園の指定管理者による管理運営
- (2) 指定管理者公園の適切な管理運営に関わる調整
- (3) コロナ禍における公園利用者のニーズに対応する自主事業の展開について協議・支援を行う。

事業シート (事業名) 03 公園巡視機動業務委託事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

定期的な巡視業務により公園内の要補修箇所の早期発見に努めるとともに、機動業務を通じて公園施設の早期対策を図るなど、安全安心で快適な公園を市民に提供する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2002	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市都市公園条例、 浜松市公園条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市	③保健								
事業とゴールの 関連性	<ul style="list-style-type: none"> 公園の活用によりあらゆる年齢のすべての人々の健康的な日常生活を確保し、精神及び身体の健康維持を促進する。 都市の基本機能である公園の継続的な管理により人間居住環境を維持する。 								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	80,511	83,941	83,941	86,208		
	決算	80,274	83,439	83,717			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	80,274	83,439	83,717	86,208		
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	3,360	3,080	3,080	3,080		
人工	正規	0.4	0.4	0.4	0.4		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.2	0.1	0.1	0.1		
年間経費(予算又は決算+A+B)		83,634	86,519	86,797	89,288		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

市内全域に広がる、指定管理者以外の公園731箇所(361.96ha)について、民間事業者に委託し、次の業務を実施する。

(1) 公園巡視業務

公園管理事務所が所管する市内の公園を8ブロックに分け、各公園について原則月3回以上の巡視点検、軽微な補修(除草や水道栓の交換等)及び遊具点検から市民要望箇所の現地確認等を公園機動業務と連携の上、対応処理する。

(2) 公園機動業務

公園施設の造園・土木・建築・給排水等の業務のうち、緊急性が高く比較的簡易な補修作業等について、公園巡視業務と連携の上、迅速に対応処理する。



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

・巡視業務により公園施設の破損、危険箇所及び問題箇所等を早期に発見し、機動業務により迅速に樹木伐採・剪定、ベンチや遊具等の公園施設の簡易補修を行うことにより、安全安心で快適な公園を提供することが継続してできた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

コロナ禍における公園利用者の増加やニーズの高まりにより迅速な対応が求められている。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 現状 小項目 / 事業費 拡大 人工 現状

・巡視点検状況の確認を明確にするため、毎月の報告内容を細分化し、適正な管理状況を把握した。
・業務委託の設計労務単価引き上げにより、事業費が拡大した。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 改善 小項目 業務改善 / 事業費 拡大 人工 現状

・都市計画公園や開発公園の新設等により管理公園が増加することにより事業費の拡大が必要となる。
・事業の主な対象となっている市民に身近な公園についても、指定管理者制度の活用などについて、有効性の検討を行う。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

市内全域に広がる、指定管理者以外の公園731箇所(361.96ha)について、民間事業者に委託し、次の業務を実施する。

(1) 公園巡視業務

公園管理事務所が所管する市内の公園を8ブロックに分け、各公園について原則月3回以上の巡視点検、軽微な補修(除草や水道栓の交換等)及び遊具点検から市民要望箇所の現地確認等を公園機動業務と連携の上、対応処理する。

(2) 公園機動業務

公園施設の造園・土木・建築・給排水等の業務のうち、緊急性が高く比較的簡易な補修作業等について、公園巡視業務と連携の上、迅速に対応処理する。

事業シート (事業名) 04 公園緑地帯維持管理事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

市内全域に広がる指定管理以外の公園731公園(361.96ha)を対象に、除草や清掃・樹木剪定をはじめ、遊具や照明灯などの公園施設を適正に維持管理することにより、市民に安全安心で快適な公園を提供する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1977	-	一般会計	自治事務(その他)	都市公園法、浜松市都市公園条例、浜松市公園条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	③保健		⑥水・衛生	
	⑬気候変動	⑮陸上資源		
事業とゴールの関連性	<ul style="list-style-type: none"> 公園の活用によりあらゆる年齢のすべての人々の健康的な日常生活を確保し、精神及び身体の健康維持を促進する。 公園便益施設の適正な維持管理により、すべての人が水と衛生の利用を可能とする。 都市の基本機能である公園の継続的な管理により人間居住環境を維持する。 公園緑地を継続的に維持することで、気候関連災害や自然災害への緩衝帯や一時避難地としての役割を保持する。 公園緑地の継続的な維持により、緑地減少の阻止や劣化した緑地の回復を担う。 			

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	589,478	627,565	655,273	657,871		
	決算	575,721	617,035	557,295			
	国・県支出						
	市債						
	その他	7,525	8,865	6,361	6,361		
	一般財源	568,196	608,170	550,934	651,510		
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	27,860	28,000	28,140	26,740		
人工	正規	3.5	3.6	3.5	3.3		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.2	1.0	1.3	1.3		
年間経費(予算又は決算+A+B)		603,581	645,035	585,435	684,611		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

市内全域に広がる731箇所の公園について、次の業務を行う。

- (1) 公園内の清掃や樹木剪定等の維持管理
- (2) 園路の補修やトイレ・遊具等の修繕
- (3) 時計や照明設備等の保守点検、修繕
- (4) トイレ清掃や受水槽等保守点検等
- (5) 電気料、水道、下水道料等の支払い



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・都市公園等の除草や清掃、樹木剪定をはじめ、遊具や照明灯などの公園施設の修繕、設備保守などについて、限られた経費を有効に活用し、市民に安全安心で快適な公園を提供することができた。
- ・突発的な事故や要望等による業務が多いため、年間の計画的な予算配分に苦慮した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

コロナ禍における公園利用者の増加やニーズの高まりにより迅速な対応が求められている。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 現状 小項目 / 事業費 拡大 人工 現状

- ・突発的な事故等や急な要望に対し、適確な判断により処理されている。
- ・突発的な事故等や急な要望のため、年間の計画的な予算配分に苦慮した。
- ・樹木の成長、施設の老朽化により事業費が増加した。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 改善 小項目 一部委託 / 事業費 拡大 人工 現状

- ・現行の手法や仕様の見直しについて検討する。
- ・計画的な維持管理ができるよう、人員配置や予算配分等しくみの見直しを検討する。
- ・事業の主な対象となっている市民に身近な公園についても、指定管理者制度の活用などについて、有効性の検討を行う。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

市内全域に広がる726箇所の公園について、次の業務を行う。

- (1) 公園内の清掃や樹木剪定等の維持管理
- (2) 園路の補修やトイレ・遊具等の修繕
- (3) 遊戯施設定期点検
- (4) 時計や照明設備等の保守点検、修繕
- (5) トイレ清掃や受水槽等保守点検等
- (6) 電気料、水道、下水道料等の支払い

事業シート (事業名) 05 公園施設改良事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

老朽化により市民ニーズに合わなくなったり、安全性に支障が生じたりしている公園施設(トイレ・遊具・園路など)を対象に、施設改良を行い、より市民が利用しやすい公園の提供に努める。また、都市公園の照明灯のLED化による省エネルギーの推進を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1977	-	一般会計	自治事務(その他)	都市公園法、浜松市都市公園条例、浜松市公園条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	III-1(1)ア						
重点戦略	<input type="radio"/>	(戦略項目)	143						

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市	③保健
事業とゴールの関連性	<ul style="list-style-type: none"> 公園の活用によりあらゆる年齢のすべての人々の健康的な日常生活を確保し、精神及び身体健康維持を促進する。 都市の基本機能である公園の継続的な管理により人間居住環境を維持する。

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	170,058	219,006	292,534	229,511		
	決算	102,344	192,932	206,258			
	国・県支出		14,076				
	市債						
	その他				154,952		
	一般財源	102,344	178,856	206,258	74,559		
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	8,680	9,660	9,660	11,060		
人工	正規	1.2	1.3	1.3	1.5		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.1	0.2	0.2	0.2		
年間経費(予算又は決算+A+B)		111,024	202,592	215,918	240,571		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
指定管理14公園の照明灯LED化率(%)		143	目標	35	55	75	100	100	100
			実績	41	45	60			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

安全安心で快適な公園施設を利用者に提供するため、運動施設の改修、遊具の更新、園路の整備等を計画的に進めるとともに、市民要望や、安全性に支障が生じている施設等の早期改修に努める。

5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・グラウンドや運動施設の改修をはじめ、遊具の修繕や園路の整備等について、限られた予算の中で有効活用し、安全安心で快適な公園利用を提供することができた。
- ・東岨緑地及び入野第二緑地の法面補強工事により、土砂災害の防止に寄与した。
- ・指定管理公園の照明灯のLED化を実施したが、緊急的、突発的な案件を優先したため、当初目標値の達成には至らなかった。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

コロナ禍における公園利用者の増加やニーズの高まりにより迅速な対応が求められている。

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・発注準備に手間取り、予定よりも発注時期が遅れがちとなってしまった。
- ・緊急性・危険性が高いものは早期に対応することができた。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・現場条件を再考し、発注時期を調整して、工事集中期間を避けた発注を行う。
- ・改修、改良が必要な公園施設の洗い出しを行い、優先順位付け等を行い、計画的な取り組みを行う。

7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

【2019-2022重点戦略項目No.143】

安全安心で快適な公園施設を利用者に提供と以下の業務を行う。

- (1) 運動施設の改修、遊具の更新、園路の整備等を計画的に進めるとともに、市民要望や、安全性に支障が生じている施設等の早期改修に努める。
- (2) 指定管理公園の照明灯のLED化を計画的に行う。

事業シート (事業名) 06 ビーチスポーツ施設整備事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

「ビーチ・マリンスポーツの聖地」としての独自のブランド価値を創出し、大会・合宿の誘致やアクティビティ体験等の魅力発信により誘客を図る一環として、遠州灘海浜公園江之島地区においてビーチスポーツ施設の整備を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2019	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市	③保健								
事業とゴールの 関連性	<ul style="list-style-type: none"> 公園の活用によりあらゆる年齢のすべての人々の健康的な日常生活を確保し、精神及び身体の健康維持を促進する。 都市の基本機能である公園の継続的な管理により人間居住環境を維持する。 								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	71,123	2,315	3,403			
	決算	69,896		2,776			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	69,896		2,776			
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	1,400	700	700			
人工	正規	0.2	0.1	0.1			
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		71,296	700	3,476			

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

・遠州灘海浜公園江之島地区へ、サブコートとして整備した、ビーチバレー、ビーチテニス、ビーチサッカー、ビーチラグビー等のビーチスポーツコートの維持管理を行う。



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

・ビーチ・マリンスポーツ事業に基づき、ビーチバレーボール2面、ビーチサッカー1面のビーチコートについて、必要備品等の調達により指定管理者による運用管理を行った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 改善 小項目 / 事業費 縮小 人工 縮小

・ビーチスポーツコートの完成後、指定管理者管理により、ビーチバレー、ビーチサッカーなど各種大会に利活用されている。

・江之島地区のビーチコート全体計画が策定され、当面は、既存施設を維持管理のみを行う。

・廃止した50mプール解体のため、プール施設内にある廃棄物等の処分を行った。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 改善 小項目 改修・更新 / 事業費 縮小 人工 縮小

・江之島地区全体をスポーツ施設として、スポーツ振興課の所管に向けて調整する。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

・ビーチバレーボールでは2面、ビーチサッカーでは1面のビーチコートを指定管理者により運用管理を行う。

事業シート (事業名) 07 公園施設長寿命化事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

都市公園における公園施設について、今後進行する老朽化に対する安全対策の強化及び改築・更新費用の削減と平準化を図る観点から、適切な施設点検、維持補修費等の予防保全的な管理の下で、既存ストックの長寿命化対策及び計画的な改築・更新を図ることにより、市民に安全安心で快適な公園を提供する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2009	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市	③保健								
事業とゴールの 関連性	<ul style="list-style-type: none"> 公園の活用によりあらゆる年齢のすべての人々の健康的な日常生活を確保し、精神及び身体健康維持を促進する。 都市の基本機能である公園の継続的な管理により人間居住環境を維持する。 								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	65,116	131,782		79,491		
	決算	65,116	38,782	93,000			
	国・県支出	32,558	19,391	46,500	39,745		
	市債						
	その他				37,000		
	一般財源 一般会計繰入金	32,558	19,391	46,500	2,746		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		1,400	1,400	1,400	1,400		
人工	正規	0.2	0.2	0.2	0.2		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		66,516	40,182	94,400	80,891		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

2022年度

分野
03

基本政策
03

政策
09

予算費目
04

所属コード
002163000

事業

(担当課)
07 公園管理事務所

(責任者)

濱田 輝秀

(基準日)

2022.7.1

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

都市公園の遊戯施設や一般施設の長寿命化計画により、計画的な維持管理・更新を行う。
・遊戯施設長寿命化対策工事 (浅森緑地ほか 27基)



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

・浅森緑地ほかで27基の老朽化した遊具を更新し、安心安全で快適な状態が確保できた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

コロナ禍における公園利用者の増加やニーズの高まりにより迅速な対応が求められている。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・国の第三次補正による、交付金の追加配当により、繰越事業として遊具の更新工事を実施した。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・都市公園の遊戯施設や一般施設の長寿命化計画により、計画的な維持管理・更新を行う。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

・遊戯施設の長寿命化計画が令和5年度までとなっているため、令和6年度以降の計画の見直しを行う。
・都市公園の遊戯施設や一般施設の長寿命化計画により、計画的な維持管理・更新を行う。

事業シート (事業名) 08 公園管理デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

指定管理者や巡視業務受託者との通常の維持管理に関する協議や、緊急時対応の効率化を図るため、非対面式相談対応のタブレットを導入する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2021	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算			123	4,711		
	決算			46			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金			46	4,711		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)				700	1,400		
人工	正規			0.1	0.2		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)				746	6,111		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

2022年度

分野
03

基本政策
03

政策
09

予算費目
04

所属コード
002163000

事業
08

(担当課)
公園管理事務所

(責任者)
濱田 輝秀

(基準日)
2022.7.1

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- ・非対面式相談対応のタブレットを導入する。
- ・指定管理者や巡視業務受託者との通常の維持管理に関する協議や、緊急時対応の効率化を図る。



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・タブレット端末2基を導入した。
- ・タブレットを用い、事務所との間での現場確認やWEB会議に活用した。

- ##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)
- コロナ禍における公園利用者の増加やニーズの高まりにより迅速な対応が求められている。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・非対面式相談対応のタブレットを導入するにより、現場との緊急時対応の効率化を図ることができた。
- ・タブレットを用いWEB会議を行うことで移動時間の短縮など事務事業の効率化を図ることができた。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・指定管理者や巡視業務受託者との通常の維持管理に関する協議の活用推進を図る。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

- ・指定管理者や巡視業務受託者との通常の維持管理に関する協議の他、通常の維持管理に関する他者との協議等への活用を推進する。
- ・タブレット端末 2台 (リース契約)
- ・公園台帳システムの導入

事業シート (事業名) 09 公園管理運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

公園管理事務所を運営する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1977	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	17,432	13,293	13,280	13,782		
	決算	15,012	12,035	12,144			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	15,012	12,035	12,144	13,782		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		24,900	23,240	22,680	23,240		
人工	正規	3.1	2.8	3.0	3.0		
	再任用(31h)	0.5					
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.5	1.3	0.6	0.8		
年間経費(予算又は決算+A+B)		39,912	35,275	34,824	37,022		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

公園管理事務所事業を遂行するために以下の業務を行う。

- (1)公園管理事務所の維持管理
- (2)公園管理事務所窓口業務委託
 - ・予約システム(まつぼっくり)
 - 利用者登録事務、予約受付・利用状況確認、利用申込書の受付、使用料の納付・領収書の発行
 - ・公園管理事務所
 - 接客案内、電話対応、庶務事務の補助



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・公園や緑地の維持管理を行うための事務費、事務所経費を執行し、効率的な運営を行うことができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

管理事務所の運営について、引き続き新しい生活様式に基づいた運営を実施する必要がある。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

- ・公園管理事務所の運営経費として、効率的な運営に努めることができた。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

- ・公園管理事務所の運営経費として、効率的な運営を行う。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

公園管理事務所事業を遂行するために以下の業務を行う。

- (1)公園管理事務所の維持管理
- (2)公園管理事務所窓口業務委託
 - ・予約システム(まつぼっくり)
 - 利用者登録事務、予約受付・利用状況確認、利用申込書の受付、使用料の納付・領収書の発行
 - ・公園管理事務所
 - 接客案内、電話対応、庶務事務の補助